

# 全国障害者問題研究会 北海道支部 第37回 夏期学習会 開催要項

2015. 9. 12~9. 13

## 語ろう学ぼう 発達保障

くらし・生活・まなびのために



第37回全障研北海道支部夏期学習会  
開催実行委員長

村澤 和多里

(札幌学院大学 人文学部臨床心理学科)

この度は札幌学院大学を会場に全障研北海道支部の研究会を開催させていただき運びとなり、大変光栄に感じております。

私自身は、臨床心理士の立場から若者や子どもの心理的な困難について研究してまいりました。そういった人たちと接していて気になっているのは、若者のひきこもりの背景として発達障害の存在が指摘されていたり、児童虐待の背景や結果としてもさまざまな障害が指摘されるなど、さまざまな社会的問題の背景に障害の存在が見え隠れしていることです。従来社会では何とか社会に包摂することができたようなことからも、包摂されずに排除されてしまい、「障害」という形で顕在化してきているように感じています。

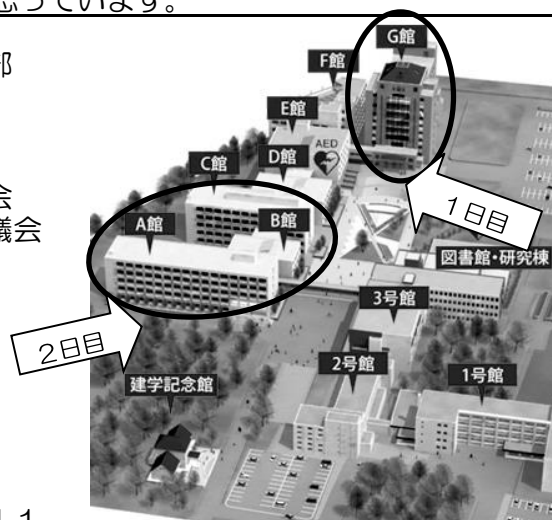
研究会は広い視野から障害について学ぶ絶好の機会だと思います。みなさまと力を合わせて充実した学びの場を作りたいと思っています。

■主催 全国障害者問題研究会北海道支部  
第37回全障研北海道支部  
夏期学習会開催実行委員会

■後援 北海道 北海道教育委員会  
社会福祉法人北海道社会福祉協議会  
札幌学院大学  
(申請中のものを含む)

■とき 2015年9月12日(土)  
13日(日)

■ところ 札幌学院大学  
江別市文京台11番地  
TEL: 011-386-8111



## ■参加費■

	一般（非会員）	2015年度会員	学 生
2日間参加	3,500円	2,500円	1,000円
1日のみ参加	2,000円	1,500円	500円

\*保育の体制はありません。

**\*全障研への入会を希望される方\***

申込用紙の送金内訳の全障研会員の欄に「3,000」と書き、年会費3,000円を添えてください。

道支部会報年6回、全障研しんぶん年12回、各種研究案内がもらえます。

また、全障研の研究学習会参加費が割引になり、今回の夏期学習会も会員扱いになります。

**■申込先■** 参加申込書に必要事項を記入し、下記へお申し込みください。

◀ F A X ・ E-mail にて受け付けます。 ▶

E-mail zensyoken\_doushibu@yahoo.co.jp

F A X 0154-64-7061

## ■参加費入金方法■

①郵便振替 02720-7-16858 全国障害者問題研究会北海道支部

②銀行振込 北海道銀行花川支店（普）0030870

全国障害者問題研究会北海道支部 二通 諭（につう さとし）

③当日入金 当日受付にてお支払いいただけます。

**■申込締切■ 9月7日（月）\*介助が必要な方の締切は8月17日（月）**

\*当日の飛び込み参加も歓迎いたしますが、資料がお渡しできない場合があります。

\*昼食は各自でご準備ください。2日目はパンの販売<スワンベーカーリー>を予定しておりますが十分な数量をご用意できない場合もありますので、ご了承願います。

## ■問い合わせ■

全障研道支部事務局携帯 080-3291-0300

## ■交通アクセス



### JRを利用する場合

札幌駅より、江別・岩見沢方面普通または快速に乗車、「大麻駅」下車。

徒歩10分

### バスを利用する場合

新札幌バスターミナルより

【JRバス】24大麻11丁目行28野幌駅行き82文教通西（大麻駅南口大先回り）83文教通西（札幌学院大先回り）など

【夕鉄バス】文教台行き・あけぼの団地行き・南幌東町行き・栗山行き・夕張行きなどに乗車。「学院大正門前」または「北翔大学前、札学院大前」下車。徒歩1～3分

1 日 目 9 月 1 2 日 ( 土 )

G 館

- 10:00 **おはよう講座** ①特別支援教育時代の光り輝く映画たち 二通 諭(80分)  
(「特別支援教育時代の光り輝く映画たち」をテキストに使用します)  
②チャレンジキャンパスさっぽろ5年目の今 高野 貴聡(40分)

12:00 受付 (G館1階 S G U ホール前)  
【全障研新刊等書籍販売しております】  
【道民教書店として、教室ですぐ使える教具・算数グッズ・書籍を多数にわたり揃えるコーナーも開設します】

- 13:00 **開会式** (G館 S G U ホール)  
**シンポジウム** 「ひきこもり」をめぐって—交錯する支援のリアリティー  
座長 : 村澤 和多里 (札幌学院大学)  
登壇者 : 発達障害支援の視点から : 二通 諭 (札幌学院大学)  
ピアサポートの視点から : 田中 敦 (NPO法人レター・ポスト・フレンド相談ネットワーク)  
当事者の視点から : 杉本 賢治 (引きこもり経験者)

ひきこもりについて活発に議論されるようになってから15年以上が経過した。この間に、厚労省はひきこもり支援についてのガイドラインを2回出しているが、徐々に精神医療の枠組みと自立支援との連携が強く打ち出されるようになってきている。このような方向性について、支援者も当事者もさまざまな思いを持っているであろう。このシンポジウムでは、特別支援、ピアサポート、自立支援、当事者の立場から、それぞれが「ひきこもり」をどのような問題として体験しているのか、その支援のリアリティーについて話し合い、新たな地平を探る

- 14:40 **記念講演** みんなで語ろう つなごう発達保障  
講師 河合 隆平 氏  
(金沢大学 人間社会研究域学校教育系 准教授)

《講師コメント》

「発達保障ってなに？」とたずねられたら、みなさんはどのように答えますか？  
うまく言葉にできないかもしれませんが、きっとみなさんの実践や生活のなかに、発達保障の考え方が芽吹いているのではないのでしょうか。  
今回は「語る」そして「つなぐ」をキーワードに、発達保障が大切にしてきた「みんなのねがい」をいっしょに確かめ合いたいと思います。

《河合氏プロフィール》

東京学芸大学 博士課程 修了。2006年度、金沢大学講師。2007年度より金沢大学准教授。専門は障害のある子どもの教育史・教育学。

主な著書(共著・編者含む)

「発達保障ってなに？」(2012) 「テキスト肢体不自由教育」(2014) 《全障研出版部》  
「困難をかかえる子どもに寄り添い共に育ち合う保育」(2011) 《新読書社》

16:50 全国障害者問題研究会北海道支部総会

- 17:30 **支部交流会・出版記念トークセッション (G館5階「文泉」) 会費3000円**  
明神もと子『どんなに障害が重くとも 1960年代・島田療育園の挑戦』二通諭・藤本文朗編  
『障害児の教育権保障と教育実践の課題 養護学校義務制実施に向けた取り組みに学びながら』を中心に。

2日目 9月13日(日)

A館3階

《シンポジウム・講座》10:00~15:00(休憩12:00~13:00)

分科会・講座名		主な内容	講師・発表者(敬称略)
AM	シンポジウム① 特別支援学校高等部のいまとこれから	知的障害のある子どもたちを対象とした特別支援学校高等部・高等支援学校をめぐる道内の動きを振り返り、現状と課題について現場の教職員からの報告をもとに学びあいます。「道立特別支援学校高等部の在り方検討」により何が変わろうとしているのか、発達保障の理念に基づいた実践を積み重ねてきた私たちはこの制度変更にどう向き合うべきなのか、高等部の「いま」と「これから」を会場のみなさんと一緒に考える時間したいと思います。	座長：牧野誠一 (札幌学院大学) 三田村祐二 (新篠津高等養護学校) 三浦美榮 (高等支援学校卒業生保護者) 島 由佳 (釧路鶴町又後子儀)
PM	シンポジウム② 高校、大学における発達障害や精神的な困難を抱える生徒、学生への指導と支援	文科省2012年調査によれば、小中学校の通常学級において、発達障害が疑われる児童生徒が6.5%の割合で在籍しています。これらの児童生徒の多くは、その後高校や大学へ進学するわけですが、そこではどのような支援が展開されているのでしょうか。本シンポでは、高校および大学における実践事例に焦点を当て、現下の到達点と直面している困難を明らかにしながら今後の課題を探ります。 *冒頭にミニ講義「障害学生支援の動向」新國三千代(札幌学院大学)があります。	座長：二通諭 池田考司(奈井江商業高校)/菊地信二(幕別高校)/大橋伸和(不登校・場面緘黙経験者)/タカハシユミコ(保護者ミーティング主宰者)/ <u>指定討論者</u> ：北川聡子(社会福祉法人麦の子会)他
AM	基礎講座① 発達保障基礎講座～どんなに障害が重くとも～	1961年5月、日本で初めての重症心身障害児施設、烏田療育園が開園しました。明神もと子氏は、児童指導員として小林提樹園長とともに障害の重たい子どもたちの療育実践に取り組みました。この初期の実践と療育の歴史から、発達と教育の権利保障について学びます。『どんなに障害が重くとも』をテキストに使用します。	講師：明神もと子 (元北海道教育大学 釧路校)
PM	基礎講座② 学校から子どもの「生活」を考える	障害のある子どもたちは、貧困や虐待、保護者の疾患等、さまざまに「複合した不利」を負っています。学校や就学前施設ではそのような子どもたちの「生活」とどのように向き合えば良いのかを考えます。	講師：戸田竜也 (北海道教育大学 釧路校)
AM	学習講座① 戦後70年と障害者問題	戦後70年の今年、国内外で様々な視点から「戦争と障害者」についての総括が行われている今、夏期学習会でも戦争体験を学び、平和と障害者問題について考えあいましよう。	北村典幸 (社会福祉法人あかしあ 労働福祉センター理事 長)
PM	学習講座② 障害者施策の最新動向とわたしたちの課題	社会福祉法改訂の最新動向について共有/障害者自立支援法施行10年目の今、虐待問題を考える/精神科病棟転換型居住施設の問題や障害者差別解消法の施行に向けてのなど今日的に直面しているわが国の障害者施策の課題を様々な角度から検証します。	
終日	実践講座 今日から算数大好き!!	算数が苦手、嫌いと思っている子どもたちをなんとかしたいと願っている貴方に、楽しく学べる教授法をお教えます。毎日の教室ですぐ使える教具(タイル定規・全円分度器・かけわりき等)をたくさん揃えています。(カッター・カッター板・30cm定規をご持参ください)	桜庭喜美雄 (北海道文教大学非常 勤講師・札幌市立南の 沢小学校学びのサポ ーター)
終日	実践報告 支援の必要な子の集団・あそび	障害児通所支援事業所や保育園・幼稚園からの実践報告をもとに、支援が必要なお子さんに対する集団の在り方や発達保障の理念に基づくあそびの展開などについて、皆さんと一緒に考えます。	助言者 小淵 隆司 (北海道教育大学 釧路校)

# 全障研北海道支部第37回夏期学習会

## 参加申し込み用紙

(ふりがな)			
氏名			
会員	非会員	学生	
住所	〒		
連絡先(電話・メールアドレスなど)			
勤務先・職種・立場など			
参加希望	両日	12日(土)のみ	13日(日)のみ
12日(土)の支部交流会に参加の方は右記に○をつけてください			交流会参加
13日(日)のシンポジウム・基礎講座に参加される方は午前・午後それぞれに○をつけてください			
午前(AM)		午後(PM)	
シンポジウム① 特別支援学校高等部のいまとこれから		シンポジウム② 高校・大学の発達障害・精神的困難な生徒・学生	
基礎講座① どんなに障害が重くとも		基礎講座② 学校から子どもの「生活」を考える	
学習講座① 戦後70年と障害者問題		学習講座② 障害者施策の最新動向と私たちの課題	
13日(日)の実践講座・報告等に参加される方はいずれかに○をつけてください			
終日			
実践講座 今日から算数大好き!!		実践報告 支援の必要な子の集団・あそび	
介助を希望される方は下欄にご記入ください			
希望する介助	①移動 ②身辺介護 ③手話通訳 ④要約筆記 ⑤その他( )		
参加費の入金方法について○をつけてください			
入金方法	当日支払 ・ 郵便振替 ・ 銀行振込 その他( )		
参加費( )円 + 全障研会費( )円 + 交流会費( )円 =	円		
備考			

**\* FAX申し込み先 0154-64-7061 \***

\* 申込締切は 9月7日(月) です。

\* 介助を希望される方の申込締切は 8月17日(月) です。